

チャペル週報

すべて肉なるものに糧を与える方に感謝せよ。
慈しみはとこしえに。

(詩編136:25)



2011.11.14~11.18 No.20
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 11月14日(月) 神 藤 森 明 恵 (神4)
経 音楽チャペル 関西学院バロックアンサンブル
人 阪 口 新 (神学部M1)
聖和 聖書物語「ひとりぼっちの人」
-
- 11月15日(火) ランバスチャペルアワー「『沈黙』との出会い」ランバス記念礼拝堂
神 <障がい者週間を覚えて>竹 下 八千代
文 アンドレアス・ルスターホルツ (宗教主事)
社 学生会宗教総部によるチャペル
法 音楽チャペルⅠ 聖歌隊
経 音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア
商 ランバスチャペルに合流
国 田 村 和 彦 (国際学部教授)
聖和 エルス・マリー・アンベッケン (人間福祉学部教授)
総 客 野 尚 志 (総合政策学部准教授)
-
- 11月16日(水) 西宮上ヶ原キャンパス 学部合同チャペル 於:中央講堂
「ランバス宣教師来日125周年記念」
挨拶: Thomas Kemper 氏
奨励: 水 野 隆 一 (神学部長)
聖和 「ランバス来日125周年を覚えて」小見のぞみ (短大宗教主事)
理 音楽礼拝 理工学部アンサンブル
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 11月17日(木) 神 向 井 希 夫 (大阪聖和教会牧師)
文 一歩スマイルプロジェクト
社 共に生きる⑥ 大 岡 栄 美 (社会学部准教授)
法 音楽チャペルⅡ 聖歌隊
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 収穫感謝礼拝「てんのかみさまありがとう」
総 ゴスペルクワイア POV
-
- 11月18日(金) 院 村 瀬 義 史 (総合政策学部宗教主事)
神 バロックアンサンブルによる音楽礼拝
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 音楽チャペル ゴスペルクワイアPOV
人 いのちについて考える⑫ 嶺 重 淑 (宗教主事)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 映像に学ぶ礼拝
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
11月18日(金)法学部のために 岡 本 仁 宏

収穫記念日 — 実りの時 —

高 田 正 久

秋も深まっていく季節の中、この原稿がチャペル週報に載る頃は春学期から準備されてきた大学祭も終わり関係者の皆さんは振り返りの時を迎えられていることでしょう。そしてやがて12月に迎えるクリスマスに向ってまた様々な準備が進められていく事と思います。

さて私は週末に時間が出来た時などは郊外にドライブによく出かけます。毎年、秋になり出かけた際には田園地帯の中を走ることがありますが夏には青々としていた田園風景も秋の収穫時期になると一面の黄金色風景には目を奪われる思いです。そんな中で豊かに実った稲穂が重そうに垂れ下がっているのを目にすると「実りの時」を覚えるのと同時にこの一年近くを振り返り自分にとって何か「実り」はあったのだろうか等と自問の時でもあります。今年は特に東日本大震災で被災された地域の方々は収穫が出来ない状況にある事を思うと何時になれば平穏な日々を過される時が来るのだろうか、また安心して収穫の時を迎えることが出来るのだろうかと心が痛み、一日も早い復興をお祈りする次第です。

旧約聖書の「詩篇126編」の中に次のように書かれている箇所があります。「涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈りいれる。種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は東ねた穂を背負い喜びの歌をうたいながら帰ってくる。」

人には各々の歩みがあり、各々の時がありますが、すぐには結果の出ない時、また先が見えなくなり実りの確信が得られない時があり、ただ時間だけが過ぎ去っていくように思える事があります。しかし実はその歩みの中の一瞬一瞬が次に向っていく大切な「時」となっているのではないかと思います。

今月の終わりからはアドベント・待降節に入ります。クリスマスの喜びに向って、希望の時に向って待ち望む時を過ごす事となります。どのような想いをもってその「時」を待つのか、日々を過ごすのか、が大きな意味合いを持つ事になってくると思います。毎日の日々の中に既に「実りの時」が備えられていることを覚えつつ、感謝をもって過ごしていく者でありたいと願っています。

(聖和短期大学教授)

●2011年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む(2010年度～2014年度)
「人災としての東北大地震 ～地球の上で人間は何をしているのか?～」

講師：桃井 和馬 氏(写真家、ジャーナリスト)

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

①11月14日(月)15:10～16:40

於：神戸三田キャンパスⅡ号館101号教室

②11月15日(火)11:10～12:40

於：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール

「[民政移管]後のビルマ(ミャンマー)：開発事業がもたらす環境・人権への悪影響」

講師：秋元 由紀 氏(ビルマ情報ネットワーク ディレクター)

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

と き：12月1日(木)16:50～18:20

ところ：西宮上ヶ原キャンパス B号館101号教室

●キリスト教と文化研究センター主催講演会

「宗教は戦争の原因なのか?」

講師：桃井 和馬 氏(写真家、ジャーナリスト)

と き：11月14日(月)11:10～12:40

ところ：西宮上ヶ原キャンパス B号館201号教室

桃井 和馬氏プロフィール

1962年生まれ。これまで世界140カ国を取材し、「紛争」「地球環境」などを基軸に、独自の切り口で「文明論」を展開。講演・講座の他、テレビ・ラジオ出演多数。第32回太陽賞受賞。著書に「すべての生命(いのち)にであえてよかった」(日本キリスト教団出版局)、「妻と最期の十日間」集英社新書・他多数。共著最新刊は「3・11メルトダウン」(凱風社)。恵泉女学園大学客員教授(人文学部)。

●キリスト教と文化研究センター主催写真展

と き：11月10日(木)～16日(水)9:00～18:00(土日を除く)

ところ：吉岡記念館ラウンジ

桃井和馬氏が参加する写真家7人によるプロジェクトチーム「Eyewitness(目撃者たち)」撮影の写真展を開催します。自然の大切さ、雄大さ、またその中での破壊など、地球環境をテーマにした作品48点が集められています。

●ランバス演奏会のご案内

西宮上ヶ原キャンパスの正門入ってすぐ右手のランバス記念礼拝堂では、プロの演奏家を招いて質の高い演奏会を催しています。是非足をお運びください。リコーダー・アンサンブル「レアル」コンサート

11月29日(火)午後5時30分開演(休憩あり、約90分)

平井満美子(ソプラノ)と佐野健二(リュート)デュオ・リサイタル

12月1日(木)午後5時開演(休憩なし、約70分)

いずれも入場無料です。主催：関西学院宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

11月18日(金) 田淵 結(教育学部宗教主事、宗教総主事)

11月25日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。